

おはようございます！

現在、午前8時10分。今日も快晴です。すがすがしいです。空気がおいしいです。

鹿島しのぶ氏の著『『品がいい』と言われる人』より。

「 コミュニティの中で生きて行くのに必要なことは、人から信頼されることであり、認められることです。そのためには「品格」が必要です。 」

「 気品さや上品さは、“人と共感する心”や“人を思いやる心”の上に成り立っている 」

「 気持ちがつい顔に出してしまうのは、要するに自分の感情を自分でコントロールできていないからでしょう。成熟しきっていない心が透けて見えるから、なかなか信用してもらえないし、信頼を得るのも難しくなる。 」

「 品のいい人は、本当に前向きで明るい人です。『どうしよう』『困ったな』と、オロオロする前に、『大丈夫』『なんとかなる』とプラスの言葉を発して、いつの間にか自分だけでなく、みんなの心も前向きにしまいます。 」

「 何がなんでもへりくだるといのは、間違っても品のいい生き方ではありません。相手によって態度を変える人の中に、品格は見つかりません。 」

日々、精進して行きたいです。